

# 青森県の老舗企業 403 社 出現率 2.15%は、全国40位

製造業に対して小売業の割合目立つ  
業種別上位は貸事務所業、燃料小売、酒類小売

## 青森県・「老舗企業」分析調査(2025 年)



本件照会先

木本 悟史 (支店長)  
帝国データバンク  
青森支店  
TEL 017-776-5048  
FAX 017-723-4414

発表日

2026/05/27

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

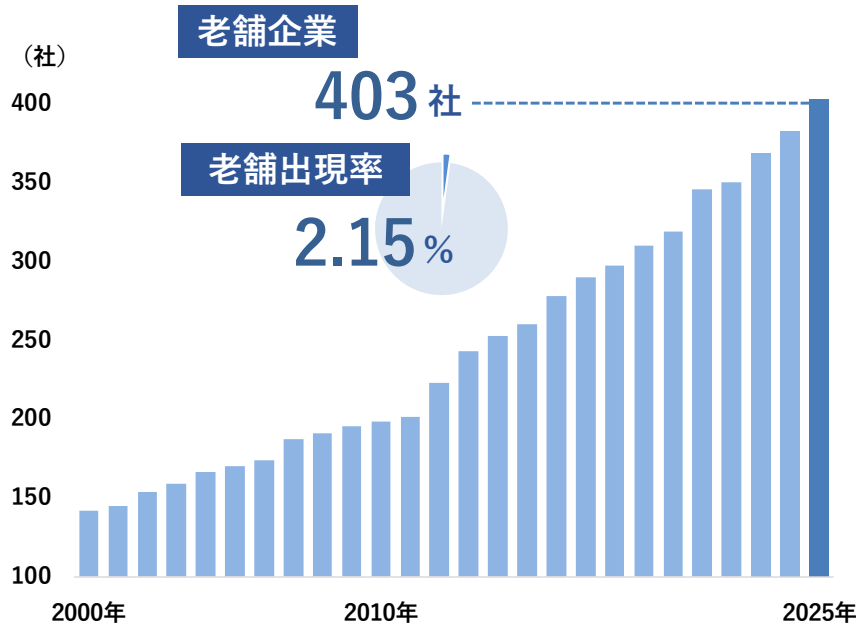
2025 年 12 月時点で、青森県では業歴 100 年を超える老舗企業は 403 社、老舗出現率は 2.15%となった。全国では京都府がトップで、山形県、新潟県と続き、老舗出現率は 3.11%と初めて 3%を超えた。業種大分類別では、全国が製造業、小売業、卸売業の順で、青森県は小売業、卸売業、製造業の順となった。また、業種細分類別では全国が貸事務所業、清酒製造業、旅館業となったのに対し、青森県は貸事務所業がトップで燃料小売業、酒小売業と続いた。

帝国データバンク青森支店が保有する企業概要ファイル「COSMOS2」(2025 年 12 月時点、約 1 万 8000 社収録)に加え、独自で収集し、営業の実体を確認できた企業を基に、創業・設立から 100 年以上の企業を「老舗企業」と定義し、分析を行った。  
創業時が元号・時代のみ判明している場合には、各元号・時代の最終年を創業年として集計した。

## 青森県の老舗企業数は 403 社、老舗出現率は 2.15%

2025 年 12 月時点で、業歴 100 年を超える青森県の老舗企業は 403 社を数えた。現在の NHK がラジオ放送を開始し、普通選挙法が公布された 1925 年(大正 14 年)に創業した約 20 社が老舗企業へ加わった。青森県における老舗企業の割合を指す「老舗出現率」は 2.15%となった。

青森県の老舗企業数 推移



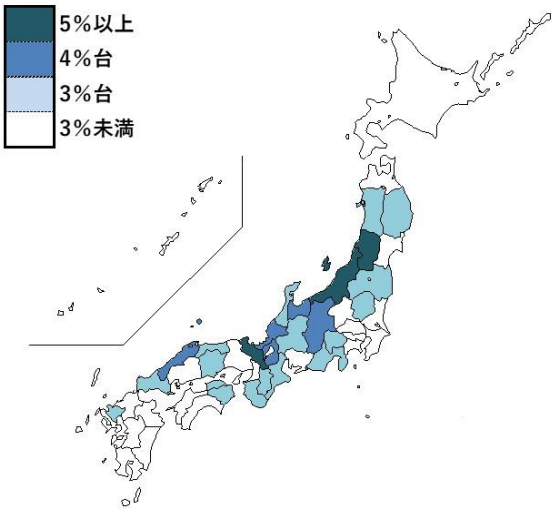
## 京都府が 5.45%でトップ、全体を上回るのは 23 府県

全国の老舗出現率を都道府県別にみると、京都府が 5.45%でトップだった。古都として栄え、第二次世界大戦中の被害が比較的小さかったことが老舗企業の存続につながったと考えられる。また「酒どころ」の山形県、新潟県が続き、3 府県が 5%を上回った。そのほか、日本海側の地域を中心に 5 県が 4%を上回り、全体の 3.11%を上回ったのは 23 府県だった。

一方で、大都市圏は軒並み低水準となり、東京都は 2.32%、大阪府は 2.30%、愛知県は 2.95%だった。そのほか、九州エリアは軒並み老舗出現率が低く、沖縄県は 0.17%にとどまった。なお、沖縄県内で最も多い老舗企業の業種は「蒸留酒・混成酒製造」の 11 社で、泡盛の製造を手掛ける企業であった。

また、老舗出現率を市区郡別でみると、10%超の地域が 10 地域あった。そのうち、19.20%と突出して高かった京都市東山区など、4 地域が京都市内だった。そのほか、千葉県からは漁業が盛んで歴史的な朝市がある勝浦市と、しょう油の名産地である銚子市が上位へ入った。

老舗出現率 都道府県別／市区郡別上位 10 地域

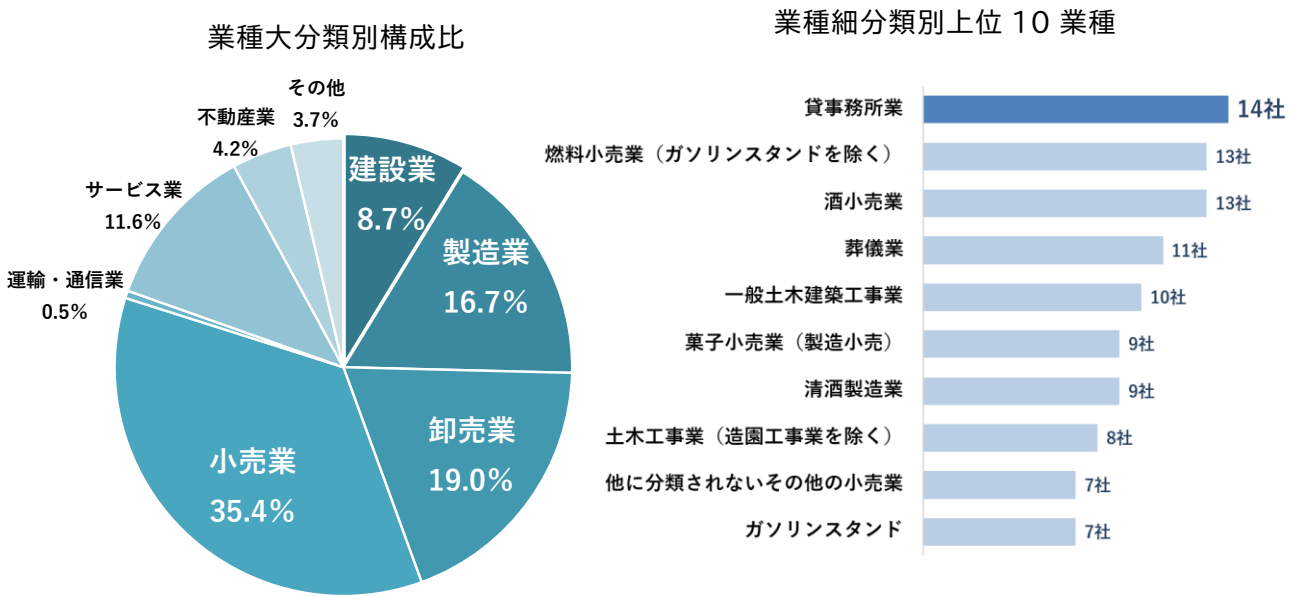


| 順位 | 都道府県 | 老舗出現率 | 順位 | 市区郡     | 老舗出現率  |
|----|------|-------|----|---------|--------|
| 1  | 京都府  | 5.45% | 1  | 京都市東山区  | 19.20% |
| 2  | 山形県  | 5.44% | 2  | 京都市上京区  | 14.34% |
| 3  | 新潟県  | 5.07% | 3  | 千葉県勝浦市  | 14.05% |
| 4  | 島根県  | 4.59% | 4  | 京都市下京区  | 13.59% |
| 5  | 福井県  | 4.56% | 5  | 新潟県加茂市  | 13.20% |
| ∴  |      |       | 6  | 京都市中京区  | 12.48% |
| 40 | 青森県  | 2.15% | 7  | 兵庫県美方郡  | 10.40% |
| ∴  |      |       | 8  | 山梨県西八代郡 | 10.31% |
| 43 | 福岡県  | 1.82% | 9  | 千葉県銚子市  | 10.28% |
| 44 | 鹿児島県 | 1.69% | 10 | 山形県南陽市  | 10.02% |
| 45 | 神奈川県 | 1.63% |    |         |        |
| 46 | 宮崎県  | 1.56% |    |         |        |
| 47 | 沖縄県  | 0.17% |    |         |        |

青森県の老舗企業は製造業少なく、小売業が目立つ  
業種別では貸事務所業がトップ、燃料小売業、酒小売業と続く

一方、青森県で現在の業種別にみると、最も多いのは小売業で全体の 35.4%を占め、次いで卸売業 19.0%、製造業 16.7%となった。全国では製造業(24.4%)、小売業(22.2%)、卸売業(21.2%)の順となり、他の都道府県に比べて製造業の割合が小さく、小売業の比率の高さが目立つ結果となった。

青森県の老舗企業 業種大分類別・業種細分類別上位 10 業種

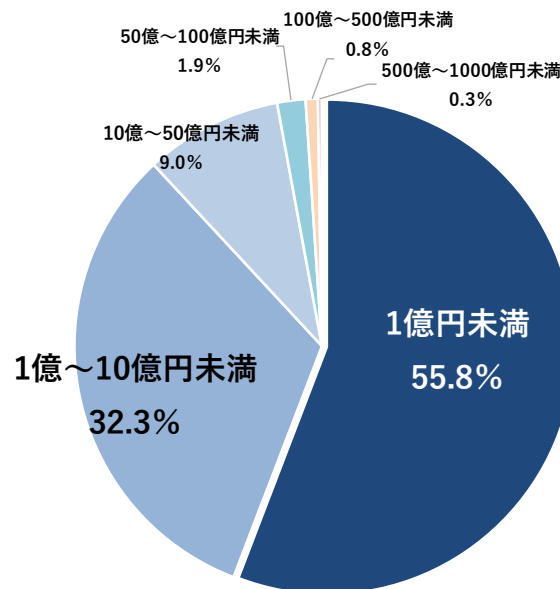


また、業種細分類別では、貸事務所業が14社とトップで、古くから地元保有する不動産を活用し、オフィスを建てるなどして業種転換したケースが多いとみられる。次いで、燃料小売業(ガソリンスタンドを除く)、酒小売業が13社と続き、ガソリンスタンドを含めた燃料関係や清酒製造を含めた酒類関係が目立った。

## 資本金1億円未満が全体の過半を占める

また、売上高が判明している老舗企業を売上規模別にみると、「1億円未満」が55.8%(全国41.8%)と過半を占め、「1億~10億円未満」の32.3%(全国37.2%)を含めれば、10億円未満の企業が8割以上を占めた。たとえ売上規模は小さくとも、堅実経営を続ける企業の強さが垣間見られる。

青森県の老舗企業 売上高構成比



## まとめ

業歴100年を超える青森県の老舗企業は403社となり、老舗出現率は2.15%となった。全国の老舗出現率は3.11%となり、初めて3%を超えており、それらに比べるとやや低位の結果となった。

青森県は農業、水産業、林業など一次産業が盛んな県として知られるが、小売業や卸売業の老舗企業の割合が製造業を上回ったのが特徴で、全国の老舗企業はおよそ4社に1社が製造業であるのに対し、青森県は6社に1社程度の割合となった。

次の100年を見据えては、経済波及効果が大きいとされる製造業の育成やサポート、誘致なども挑戦すべきテーマになるものと見られる。

時には、海外の経営者が学びに来日するほど注目される日本の老舗企業は、災害や戦争など数々の危機的状況を乗り越えて存在しており、学べることは多い。2026年に新たに創業100年を迎える企業は全国で2000社程度、青森県では20社程度あるとみられ、今後も老舗出現率は高まる見通しである。